

## 平成28年熊本地震への災害支援活動について（会長声明）

「平成28年熊本地震」の発生から1か月が経過しました。今回の震災では、死者・行方不明者は50名、負傷者1,500名、家屋被害27,000戸を超える大きな被害が出ています。また、余震も1400回以上も継続し、自宅に戻れず、車中泊や避難所にいる住民もいまだ1万人以上を数えます。被災地で道路や橋梁等の再建が急がれるとともに、仮設住宅も建設も本格化するなど、救援期から復旧・復興期を迎え、今後も長期的・継続的な支援が必要な状況です。

このため、5月14日の災害支援会議（理事会）において、「兵庫県社会福祉士会・災害支援に関する指針」に基づき、

- （1）災害支援コーディネーターの配置
- （2）災害支援活動員の登録・派遣
- （3）災害支援金の募集（目標額は100万円）

以上の災害支援活動を行うことを決議しました。

今後、日本社会福祉士会からの支援要請に基づき、被災した圏域の県社会福祉士会と連携をはかりつつ、災害支援活動を展開していきたいと考えております。

つきましては、会員のみなさまにご理解、ご協力をいただきますように、お願い申し上げます。

2016年5月16日

兵庫県社会福祉士会

会長 岡本 和久